令和4年度

幌延町教育委員会点検•評価報告書

令和5年8月 幌延町教育委員会

一 目 次 一

はじ	めに	•	•	•	•	•	1
1	点検評価の趣旨		•				1
2	点検・評価の対象		•				1
3	点検・評価の方法		•				2
4	学識経験者の知見の活用					•	2
第 1	教育委員会の活動状況		•			•	3
1	教育委員会委員名簿	•	•			•	3
2	教育委員会議等の開催状況		•			•	3
3	教育委員会議案、報告・審議内容		•			•	3
4	教育委員会教育委員の主な活動状況		•		•		5
5	教育委員会関係委員会の活動状況		•		•		5
6	教育委員会が交付した補助金一覧	•	•		•	•	8
第2	令和 4 年度幌延町教育委員会点検·評価書						
	◇幌延町学校概要	•	•		•	•	9
	◇学校教育の充実		•				10
	◇幌延町社会教育施設の利用状況		•				15
	◇社会教育 〜共に学び・共に育み・共に創る郷土に根ざすひとづくり〜	•		•	•	•	16
第3	点検評価に関する外部評価						19

はじめに

1 点検評価の趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度の教育委員会の点検及び評価をまとめて報告するものです。

し 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により 教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定に より事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況 について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に 提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験 を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和4年度における教育委員会の主要な施策・事業のうち、幌延町教育行政執行方針の施策に基づく事務事業とし、次の14項目45の事業内容について評価を行っております。

□ 学校教育

- 1 確かな学力の向上
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 特色ある教育の推進
- 5 地域と支え合う学校づくり
- 6 教職員の資質、指導力の向上
- 7 心の教育相談体制の推進
- 8 特別支援教育体制の充実
- 9 安全安心な教育環境の推進と就学支援

- □ 社会教育 ~共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり~
 - 1 幌延を知るための学びの場づくり
 - 2 地域の営みに参画できる仕組みづくり
 - 3 子どもたちの自立を促す環境づくり
 - 4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり
 - 5 学習活動の拠点づくり

3 点検・評価の方法

この点検・評価にあたっては、令和4年度の施策、個別事業ごとに事業内容: とともに、事業成果や課題を分析し、今後の方向性を示しております。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性 を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経 験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

外部評価委員

氏 名	役 職 名
高 木 健太郎	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション北管理部天塩研究林長
富士元 寿 彦	前 幌延町教育委員会 委員

第1 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿

職	名	,	氏	名	I	就任年月日	任 期
教 育	長	木	澤	瑞	浩	H27. 3. 31	R4. 4. 30 退任(7年1カ月)
教 育	長	青	木	順	_	R4. 10. 1	R4. 10. 1~R7. 9. 30
委 (教育長職務	員 代理者)	澤	谷	敦	美	H22. 1. 1	R3. 10. 1~R7. 9. 30
委	員	堀		英	夫	H24. 10. 1	R2. 10. 1~R6. 9. 30
委	員	前	田	雅	信	R1. 10. 1	R1. 10. 1~R5. 9. 30
委	員	佐	藤	友	子	R1. 11. 1	R4. 10. 1~R8. 9. 30

2 教育委員会議等の開催状況等

項目	教 育 委 員 会 議	町 議 会	学校行事・学校訪問等
回数・件数	11 回	3 回・ 4 日	13 件

3 教育委員会議議案、報告・審議内容

開催日	件名
第 4 回 4月27日	(報告) □幌延町立学校学級編成及び教職員の配置状況について □幌延情報教育センター運営委員会委員の委嘱について □幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について □幌延町スポーツ推進委員の委嘱について (審議) □幌延町社会教育委員兼幌延町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について □第2次幌延町子どもの読書活動推進計画書について □幌延町教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について □幌延町教育委員会教育長職務代理者の事務の委任に関する規則の制定について □幌延町教育委員会教育長職務代理者の事務の委任に関する規則の制定について
第5回 6月2日	 (報告) ・幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について ・幌延町学校給食アレルギー対応連絡協議会委員の委嘱について ・幌延町学校舎食センター運営委員会委員の委嘱について ・幌延町学校運営協議会委員の委嘱について ・幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について ・幌延町第7次社会教育中期計画に係る令和3年度指標評価について ・課延町教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について ・幌延町教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について ・幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金要綱の一部を改正する訓令の制定について ・令和4年度幌延町社会教育推進計画について ・令和4年度教育費補正予算の要求について ・教育行政の概要報告について

開催日	件名
第6回 6月29日	(審議) □教育委員会事務局職員の発令について
第7回7月15日	(審議) □幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金要綱の一部を改正する訓令の制定について □令和4年度教育費補正予算の要求について
第8回 8月31日	(報告) □令和4年度特別支援教育就学奨励費支給区分の決定報告について (審議) □令和3年度教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について □幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金要綱の一部を改正する訓令の制 定について □令和4年度教育費補正予算の要求について □教育行政の概要報告について
第9回 10月 3日	(報告) □教育長の任命について □教育委員の任命について □教育長職務代理者の指名について (審議) □令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について □令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
第10回 10月31日	(審議) □令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」の公表に関する町民への周知について
第11回 11月25日	(審議) □令和4年度教育費補正予算(12月)の要求について □教育行政の概要報告について
第1回 1月18日	(審議) □令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について □幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金要綱の一部を改正する訓令の制定について
第2回 2月22日	(審議) □幌延町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について □令和4年度教育費補正予算(3月)の要求について □令和4年度教育行政の概要報告について □令和5年度教育行政執行方針について □令和5年度教育費当初予算の要求について
第3回 3月29日	(審議) □幌延町教育目標の改定について □幌延町立学校の教育職員に係る時間外在校等時間の公表について □幌延町立学校教職員の人事異動について □学校歯科医の委嘱について □学校薬剤師の委嘱について □幌延町教育委員会に関わる各種委員等の委嘱について □令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について □令和5年度幌延町奨学生候補者について

4 教育委員会教育委員の主な活動状況

- (1) 令和4年度幌延町公立学校新任教職員着任式(町役場)R4.4.4
- (2) 令和 4 年度第 1 回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他 (web) R4. 4. 11
- (3) 第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔宗谷学区〕(web)R4.4.20
- (4) 令和4年度幌延情報教育センター運営委員・所員合同会議(web) R4.4.20
- (5) 令和 4 年度幌延町教育研究所総会(豊富町) R4. 4. 21
- (6) 第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔留萌管内〕(web)R4.4.25

≪5月1日から9月30日まで教育長不在のため事務局職員が代理対応≫

- (7) 令和4年度第2回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(web) R4.10.17
- (8) 北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会(札幌市)R4.10.19~20
- (9) 豊富町・幌延町合同学校経営研究協議会R4.11.9
- (10) 令和 4 年度宗谷管内市町村教育委員研修会(web) R5. 1. 18
- (11) 令和 4 年度第 4 回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 (web) R5. 1. 27
- (12) 教育行政視察研修 [とうべつ学園、雨竜小・中学校] R5.2.13~14
- (13) 第3回宗谷管内学力保障会議(web)R5.2.21
- (14) 令和 4 年度文部科学大臣優秀教職員表彰伝達式(佐々木教諭) R5.3.8
- (15) 宗谷教育局による委員会訪問(web) R5.3.14
- (16) その他関連事業

区分	入 学 式	運動会/体育大会	学芸会/学校祭	卒 業 式
幌延小学校	4月6日 (コロナ禍により欠席)	6月6日 (コロナ禍により欠席)	10月22日	3月19日
幌延中学校	4月6日 (コロナ禍により欠席)	5月29日 (コロナ禍により欠席)	11月13日	3月13日
問寒別小中学校	4月6日 (前田委員対応)	5月29日 (前田委員対応)	10月2日 (前田委員対応)	3月15日

5 教育委員会関連委員会の活動状況

(1) 社会教育委員

① 第1回社会教育委員会議

期日 令和4年5月17日

内容 第7次社会教育中期計画に係る令和3年度事業指標評価について 他

② 第2回社会教育委員会議

期日 令和5年3月28日

内容 令和5年度社会教育推進計画(案)について 他

(2) 文化財専門委員

① 第1回文化財専門委員会議

期日 令和4年7月5日

内容 令和4年度事業計画(案)について 他

② 第2回文化財専門委員会議

期日 令和5年2月24日

内容 令和5年度幌延町史跡・標柱パトロールについて 他

(3) スポーツ推進委員

① 第1回スポーツ推進委員会議

期日 令和4年5月9日

内容 令和3年度社会体育事業実施報告及び令和4年度事業計画(案) 他

② 第2回スポーツ推進委員会議

期日 令和4年12月21日

内容 社会体育事業中間報告について 他

(4) 放課後子ども教室運営委員

① 第1回幌延町放課後子ども教室運営委員会

期日 令和4年5月10日

内容 新・放課後子ども総合プランについて 他

② 第2回幌延町放課後子ども教室運営委員会

期日 令和5年3月28日

内容 令和4年度事業実績報告及び5年度事業計画(案)について 他

(5) 幌延情報教育センター運営委員

① 第1回幌延情報教育センター運営委員会〔所員会議と合同開催〕

期日 令和4年4月20日

内容 令和4年度事業計画(案)について 他

② 第2回幌延情報教育センター運営委員会〔所員会議と合同開催〕

期日 令和5年2月21日

内容 令和4年度事業報告、令和5年度計画(案) 他

(6)教育支援委員

① 第1回教育支援委員会議

期日 令和4年12月21日

内容 令和5年度適正就学判断について 他

(7) 学校運営協議会委員 (幌延地区)

① 第1回幌延小中学校運営協議会

期日 令和4年7月12日

内容 令和4年度学校経営の概要報告及び承認について 他

② 第2回幌延小中学校運営協議会

期日 令和5年2月24日

内容 令和4年度学校評価結果報告について 他

(8) 学校運営協議会委員(問寒別地区)

① 第1回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和4年7月19日

内容 令和4年度学校経営の概要報告及び承認について 他

② 第2回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和4年12月13日

内容 令和4年度学校評価結果報告について 他

③ 第3回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和5年3月3日

内容 今年度教育活動の取組み、次年度新教育目標制定に係る意見交換 他

(9) 学校給食センター運営委員

① 第1回学校給食センター運営委員会議

期日 令和5年3月27日

内容 令和4年度学校給食会会計収支決算見込みについて 他

(10) 学校給食アレルギー対応連絡協議会委員

① 第1回学校給食アレルギー対応連絡協議会

期日 令和4年7月~書面会議(新型コロナウィルス感染症対策のため)

内容 令和3年度アレルギー対応報告及び令和4年度アレルギー対応児童生徒 の状況について 他

(11) 特別支援教育連携協議会委員

① 第1回特別支援教育連携協議会

期日 令和4年7月29日

内容 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画 他

② 第2回特別支援教育連携協議会

期日 令和5年3月23日

内容 令和4年度事業報告、令和5年度事業計画(案) 他

(12) 教育委員会外部評価委員

① 第1回教育事務執行外部評価会議

期日 令和4年8月4日

内容 令和3年度教育委員会点検・評価報告書について 他

② 第2回教育事務執行外部評価会議

期日 令和4年8月22日

内容 外部評価について(点検及び評価に関する意見) 他

6 教育委員会が交付した補助金一覧

(1)総務学校グループ

補助 事業名	補助事業者	補助金額
中体連各種大会参加費補助	幌延中学校父母と先生の会	201, 388円
中体連各種大会参加費補助	問寒別町立問寒別小中学校 PTA会長	1, 268円
幌延町教育研究所運営費補助	幌延町教育研究所	585, 463円
幌延小学校校内研修費補助	幌延町立幌延小学校	95, 447円
幌延中学校校内研修費補助	幌延町立幌延中学校	104, 959円
問寒別小中学校校内研修費補助	幌延町立問寒別小中学校	110,000円
学習支援活動事業運営補助	幌延ラーニング・サポート・クラブ	2, 300, 000円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立幌延小学校	43,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(英検)	幌延町立幌延中学校	50, 200円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立幌延中学校	14,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立問寒別小中学校	11,000円
幌延町学校給食会運営費補助	幌延町学校給食会	2, 188, 836円

(2) 社会教育グループ

補助事業	名	補	助	事	業	 者	補助金	額
幌延町PTA連合協議会事業	-	幌延町	РТА	連合	協議	 会	12, 00	0円
幌延町文化協会運営事業		幌延町:	文化協	会			240, 00	0円
幌延町子ども会育成連絡協議会	事業	幌延町· 会	子ども	会育	成連	絡協議	65, 00	0円
ワラベンチャー問寒クラブ事業		ワラベ	ンチャ	一問	寒ク	ラブ	66, 00	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補アノ) <全道大会>	助事業(ピ	橋本麻	裕子				20, 00	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 アノ) <全国大会>	助事業(ピ	橋本麻	裕子				162, 17	7円
幌延町文化スポーツ大会参加補 人一首) <全道大会>	助事業(百	幌延町· 会	子ども	会育	成連	絡協議	70, 00	0円
幌延町体育協会活動補助事業		幌延町	体育協	会			363, 00	0円
幌延スポーツ少年団本部活動補	助事業	幌延町.	スポー	-ツ少	年団	本部	155, 00	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 球) <全国大会>	助事業(野	幌延野 父母の:		ポーツ	少年	寸	353, 30	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 球) <全道大会>	助事業(野	幌延野 父母の:	-	ポーツ	少年	団	40, 00	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 レーボール) <全道大会>	助事業(バ	幌延バ 父母の:	_	ドール	少年	寸	250, 00	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 レーボール) <全国大会>	助事業(バ	幌延バ 父母の:	_	ドール	少年	寸	2, 465, 10	0円
幌延町文化スポーツ大会参加補 レーボール) <全道大会>	助事業(バ	幌延バ 父母の:	_	ドール	少年	寸	139, 47	9円
幌延町文化スポーツ大会参加補 レーボール) <全道大会>	助事業(バ	幌延バ 父母の:	_	ドール	少年	寸	69, 85	8円
幌延町文化スポーツ大会参加補 レーボール) <全道大会>	助事業(バ	幌延バ 父母の:	_	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	少年	寸	40, 00	0円

第2 令和4年度幌延町教育委員会点檢・評価書

1 幌延町学校概要

□学校教育 子どもたちが心身ともに健康な人格者として成長して行けるよう「確かな学力」「豊かな心」「健 区 分 特色ある教育活動・経営の重点 やかな体」など、知・徳・体が調和する「生きる力」を育む場として教育活動を進める。 幌 延 町 学 校 概 要 (令和4年5月1日現在) 口 幌延小学校 学校教育の充実 〇学校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」 ◎ 幌延町の小中学校の児童・生徒数、教員の配置状況は以下のとおりです。人口の減少や少子化により、幌延 〇年度の重点『主体的に関わることを通して自ら考え 中学校区において児童・生徒数の減少が見込まれる。 表現し、他者と協働できる子』 学級数 教 職 員 数 □ 幌延中学校 児 童 · 牛 徒 数 ○学校の教育目標「郷土を愛し たくましく 心豊かな生徒」 (下段:特別支援 外数) 1. 健康な生徒 2. よく学ぶ生徒 3. 思いやりのある生徒 校長他 加養 栄 事 〇年度の重点『主体性の育成』 学 校 名 別 配|護 養 務 何をするかが決まっていない状況でも、仲間との関りを き 2 3 5 6 別 計 大切にし、自分の意志と判断により、責任を持って行動す 地 計 教 職 支 教 教 通 支 級 通 年 年 年 年 年 年 る生徒。 援 諭 諭 員 諭 援 16 | 16 16 | 14 20 | 19 103 □ 問寒別小中学校 幌延小学校 2級 6 9 2 3 17 ○学校の教育目標 ◇強い身体 ◇高い知性 ◇豊かな心 3 3 〇年度の重点 問寒別小学校 3級 2 1 1 13 ~自分の良さや可能性の認識と他者を尊重し、 (1) 多様な人と協働できる児童生徒の育成~ 19 | 15 14 幌延中学校 2級 3 2 9 3 15 52 1 1 (2) (1) (1) 0 問寒別中学校 3級 1 3 1 3 (1) 33 32 20 39 20 | 19 計 12 6 24 5 171 (0) (0)(3) (1) (3) (1) 年度 R7 ※ 年度別児童生徒予定者数 R6 R9 学校名 (単純算出) 幌延小学校 103 101 96 89 84 85 13 15 14 問寒別小学校 13 14 16 幌延中学校 52 57 61 55 52 46 問寒別中学校 10 計 171 175 175 162 158 155

2 学校教育の充実

担		総務学校グループ	事業内容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性
区分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名			改善·縮小·廃 止)
学校教育の充実	◇ 確かな学力の向上	○ 個に応じた指導方法工夫改善 善	□ 指導方法工夫改善加配による取組(幌小1名加配) □ 授業改善推進チーム加配による取組(幌小1名加配) □ 免許外教科担任解消加配の配置(幌中1名加配) □ 教育支援員(地域おこし協力隊)の配置(幌中) □ 基礎・基本の定着の充実 □ ICTの活用 □ 学習習慣の確立	☆ 複数教員(T.T)による少人数指導や個別指導の充実に努めた ☆ 基礎・基本の定着学習や放課後学習の実施、複式教育の授業技術の向上に努めた ☆ 家庭での学習習慣の確立に努めた ☆ 朝の活動タイム(漢字・計算・音読等)の充実を図った ☆ 教育ICTの日常的活用を推進した ☆ 生活リズムチェックシートの定期活用を図った	継続・加配要望
		〇 学習成果の活用	□全国学力·学習状況調査の結果分析 □宗谷管内子どもの学力向上「Sサポート」の活用 ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 ・Sサポート問題の実施 ・Sトライ問題の実施 ・MRT、CRT検査の実施、結果分析 □各学校における学力向上プランの作成	☆ 各調査問題等を実施し、その結果の分析を行い、短期的な検証改善サイクルを確立するとともに、各学校において学力向上プランを作成し、全ての児童生徒の学力の確実な定着と学習意欲の向上を図るための取組を推進した	・継続要望
	◇ 豊かな心の育成	〇 道徳教育の充実	□ 基本的な倫理観や規範意識の醸成 □ 自らの生き方を主体的に考える力の育成 □ 合同学習の実施(幌中、問中)	☆ 参観日や研修会で授業を公開し、道徳教育の充実に 努めた ☆ 遠隔授業を含む合同学習により、多様な考え方に接 し、考えを深める道徳科授業を実施した	
		〇 読書活動の推進	□ 児童生徒用図書の購入(R4) 幌小 283冊 問小 51冊 幌中 65冊 問中 76冊 □ 蔵書数(3月末現在) 幌小 7,985冊 問小 3,773冊 幌中 5,960冊 問中 4,933冊	☆ 図書室の整備をとおし、豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取組むことができた☆ 始業前の一斉読書活動、休み時間、自由時間の利用、低学年からの図書室利用、環境作りの推進を図った	継続・読書習慣の育成と環境づくり
		〇 少年少女文化祭	□ 少年少女文化祭(第42回)の実施 ・幌延地区 11/5~11/10 ・問寒別地区 11/12~11/17	☆作文、絵画、工作作品等の日頃の成果を発表しあい、作品交流を行った	継続
		○ 奉仕·体験活動の推進 ○ 地域との連携 ○ 総合的な学習の時間の充実	□ クリーン作戦への参加(幌小、幌中) □ 人権の花運動への参加(各小中学校) □ こども園との交流を実施(幌小) □ 子ども議会(幌中3年生)	☆ 社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育むことができた☆ コロナ禍の中、感染予防対策を講じながら、学校の地域開放、交流活動を進めることができた	継続

担		総務学校グループ	事業 大容	- - 点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性
区分	執 行 方 針 要	点 個 別 事 業 名	-	点 快 · 計 油 C 味 超	改善·縮小·廃 止)
学校教育の充実	◇ 健やかな体の育成	〇 学習成果の活用	□ 全国体力・運動能力等調査の結果分析 □ 各学校における体力向上プランの作成 □ 各学級で新体力テストの実施、結果分析 □ 体育エキスパート教員巡回指導事業の実施	 ☆調査結果の分析を行い、目標、改善方法、実施計画、評価方法を示し、日常の授業等における改善及び工夫を図った ☆加配教員による体育授業改善のための支援や指導助言を通して、小学校教員の指導力向上及び児童の体力向上に向けた取組の充実を図った 	
		〇 学校給食の円滑実施	□ 運営委員会による給食センターの計画、運営の審議等 □ 学校給食会による予算計画、決算等の審議 □ 学校による保護者等ふれあい給食会の実施 幌小2回(①1年/26年) 問小中2回(①全校/2新1年) □ 学校給食アレルギー対応連絡協議会の開催		
		〇 食育の推進	□ 学校栄養教諭の配置 □ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣の普及(平成17年4月~栄養教諭制度の創設、施行) □ 地場産食材を取り入れた給食の提供 □ 児童生徒の牛乳代相当額の助成	☆ 栄養教諭配置で、食育指導体制が図れた (食への感謝、食事のマナー、食習慣の見直し) ☆ 元気な体づくりと食習慣の大切さを理解させること ができた ☆ 地場産の食材を理解させることができた ☆ 保護者世帯の負担軽減を図ることができた	継続 ・嫌いなも のへのシ、 レンジ ナーの指導
		○ 給食施設·設備の整備	□ 衛生管理の徹底を図る ・ プレハブ冷凍庫冷凍機取替 966千円	☆保健所による、学校給食一斉点検指導を受け衛生管理を行っている☆適宜適切な施設の改修を行った	継続 ・適正な維 持管理
		〇 武道授業の必修化	□ 中学校における武道授業 幌延中学校~柔道 問寒別中学校~剣道	☆ 学習指導要領に沿って、安全に授業を実施することができた	継続
		〇 少年少女陸上記録会	□ 少年少女陸上記録会(第51回)の実施 ・7/1実施 (4種目5つの新記録) ①800m走 4年女子 ②走り幅跳び 5·6年男子 ③ソフトボール投げ 3·4男子/5·6年男子×2	☆ 自己記録の更新に挑戦した ☆ 交流昼食会及び交流授業を実施し、各学年が親睦を 深めた	継続
		〇 中体連部活動支援	□ 中体連部活動支援 ・	 ☆ 用具や中体連経費の補助、スクールバスの運行等の 支援を行い、指導教員や生徒が部活動に集中できる 環境を整備した ☆ 生徒数の減少により集団活動が難しい中、生徒の願いに応じ、少年団活動や外部指導者との連携などを 推進した 	i

担	当 課	総務学校グループ	- 事 業 内 容		方 向 性 (拡大・継続・
区分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名	-		改善·縮小·廃 止)
学校教育の充実	◇ 特色ある教育の推進	〇 特色ある教育活動の推進	□ 小中併置による9年間の一貫指導 □ イングリッシュルームの有効活用 □ 小学校英語 d e トライの実施 □ ICTを活用した環境づくりと学習活動 □ 総合学習・職場体験等の実施 □ 漢検及び英検の検定料の補助(2級まで) 【漢検】幌小43名/幌中14名/問小中11名 【英検】幌小0名/幌中15名/問小中0名	☆ 英語学習の実践の機会として、管内ALTを招聘し、	継続・地域交流と教育実践の推進
		〇 地域と教育活動	□ 総合的な学習の時間を中心に自然環境、社会 環境、人材活用を充実させる事業の推進 ・学校園活用 ・農業体験学習 ・森林教室 ・川の観察会	☆ 自然や農業に係わり、触れ合う体験の機会、食料生産の理解を深める学習を実施することができた ☆ 草花・樹木・川の観察調べでは、自然の大切さ、環境 保全への意識化を図ることができた	継続
			□地域の学習支援活動団体への補助	☆町内児童生徒の学力向上や学習習慣の定着のための学習支援活動行う地域の団体へ支援を図った	
		〇 情報教育の推進	□情報教育センターの運営、研究推進 □TV会議システムを活用した遠隔授業の実施 □1人1台端末を活用した教育活動の充実 □GIGAスケール構想に基づくICT環境の整備 □臨時休業時等の家庭学習支援(オンライン学習)の実施環境の維持促進 □プ゚ロゲラミング教育の実施促進	☆ AI ドリルやデジタル図書等の利用環境を整備し多様な場面での端末活用の推進を図った☆ 児童生徒の情報活用能力の育成を図った☆ 一人一台端末及び学校ネットワークの環境整備を図った☆ オンライン学習のために、臨時休業時だけでなく日常的に1人1台端末を家庭へ持ち帰ることを想定し、保護者から理解を得て教育活動を実施する環境を維持促進した☆ 「Scratch」等を活用したプログラミング授業を各	継続 ・情報教育 環境の整備
		○ 国際理解教育の推進	□ 小中学校の英語科(小5~中3)、小学校の外国語(小3·4年)及び生活科(小1·2年)の授業でのALT、外部講師、学習支援員の活用 □ 生きた語学を学ぶ機会の提供 ・委託ALT(トレイシー氏) 227回 ・外部講師(キャシィ氏) 27回 ・学習支援員(宮古氏) 281コマ(授業時数) □ 英検IBAの実施(中1~3)	語科の指導内容の質の確保、及び更なるグローバル化に対応した教育環境を整備するため、委託ALT 及び外部講師に加えて、英語に特化した「学習支援 員」を1名配置し、外国語教育の充実と国際理解教 的	員、AL T、外部講

担		総務学校グループ	- 事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・ 改善・縮小・廃
区 分 学校教育の充実	執行方針要点 ◆地域と支え合う学校 づくり	個 別 事 業 名 ○ 学校運営協議会(コミュニティスクール)の設置	□コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み・学校運営への参画・学校評価に関すること 他□委嘱人員:30名(幌小中19名、問小中11名)	 ☆ 学校と地域が目標を共有し、地域の子どもを地域で育てる仕組みを整えた ☆ 幌延地区2回、問寒別地区3回の会議を開催し、委員からは、学校運営基本方針の承認をはじめ、学校評価に関する様々な意見や質疑がなされ、実態に応じた学校運営が図られた 	・社会に開 かれた教育 課程の実現 を目指す
		○ 情報公開の推進	□ 地域参観日の設定や地域交流の実施 □ 告知端末を活用し、学校行事を周知 □ 学校だよりや学年・学級通信を定期的に発行 □ 各学校のホームページの適宜更新 □ 学校緊急連絡網の活用	☆地域参観日等を通して、保護者や地域に開かれた学校づくりを推進し、教育活動の理解が図られた☆学校ホームページにより日々の教育活動の情報発信を行うなどの取組の充実を図った☆臨時休校等の緊急時に迅速に情報を伝達するため、メール等に対応した連絡網を活用した	・開かれた
		〇 教職員研修の実施	□ 幌延町教育研究所 □ 幌延町内 3 校校内研修	 ☆ 共同研究組織としての教育理論や実践研究の推進を図ることができた ☆ コロナ禍において、WEB会議サービスを活用した研修を通して教職員の資質や指導力の向上を図った ☆ 道の「地域連携研修事業」を活用し、「教科指導と評価の一本化」について理解を深めた 	継続 ・事業の継続 要望
		○ 学校における働き方改革の 推進	□ アクションプランに基づく取組の推進 □ 働き方改革推進事業の取組(推進校:幌中)	☆ 学校課題に応じた支援員等の配置により、教員の 負担を軽減し、業務に専念できる環境を整備した☆ 校務支援システムの活用し、事務の効率化及び教員 の適正な出退勤管理を推進した	継続
		〇 学校訪問の実施	□ 義務教育指導監 (学校経営指導) 及び指導主事 (学校教育指導) の訪問要請を行い、学校経 営、教育課程、校内研究等への指導・助言の 実施 ・経営指導訪問/教育指導訪問 各校 2 回実施	☆ 教育課題·学習指導等について研究協議をし、教職員の指導力の向上が図られた	継続 ・授業力の 向上
		○ 教職員評価の取組 市町村立学校職員の評価に 関する要領一北海道教育委 員会教育長決定	□ 平成20年4月1日施行学校教育目標や経営方針・重点を踏まえ年間の自己目標等を設定□ 当初面談、中間面談、最終面談の実施を通して課題解決に向かう取組の推進	☆ 自己評価、指導助言者からの助言を受け、1年間の成果や課題を明らかにし、次年度の目標や取組に繋げることができた	

担区分	当 課 執 行 方 針 要 点	総務学校グループ	- 事 業 内 容	点 検 · 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・ 改善・縮小・廃
学校教育の充実	◇ 心の教育相談体制の 推進	○ 子どもの心サポート相談員配置○ アンケート調査の実施	ができる第三者の配置 ・1日3.5時間、週3日、年40週 ・平成14年度から幌中に1名配置	★親や担任以外の人との係わりで悩み、不安を解消して行く環境づくりを進める★一人一人の児童生徒の状況を把握し、より良い学校生活を送れるように実施した	此) 継続 ・相談員の 確保
	◆ 特別支援教育体制の 充実	〇 特別支援教育支援員配置	□幌延小学校 3名配置 ・1日4時間、週5日、年40週 ・平成18年度から幌小に配置 ・令和3年度から1名増員	★ 支援員の配置により新入学児童が早期に学校生活に慣れ、スムーズな学級経営を図ることができた★ 低学年の通常学級に在籍し、支援を要する児童についても適切な指導をすることができた	・支援員の
		○ 特別支援教育連携協議会の 活動	□特別支援教育連携協議会の設置·運営 ・教育相談 2回 ・協議会1回(書面会議)/専門部会議6回 ・特別支援学級 小中6学級[8名] (幌小2、問小1、幌中2、問中1) ・子育てファイルの活用	☆協議会の運営により、児童生徒の実態や関係機関による情報の共有が図られ、障害の種類や程度に応じた適切な指導が行われた☆子育てファイルを活用し、個々に応じた的確な教育的支援に努めた	
	◇ 安全·安心な教育環境 の推進と就学支援	〇 安全·安心で健やかな学校及 び地域	□青少年健全育成連絡協議会 年2回開催 □ 通学路安全推進会議 年2回開催 ・通学路交通安全プログラムの策定等	☆青少年健全育成連絡協議会の定期開催や関係会員との情報交換を行い、課題等を共有することができた☆プログラムに基づき、会議や通学路の合同点検を実施し、児童生徒の安全確保に努めた	関、地域と
		〇 学校施設の整備	□ 幌小正面縁石補修修繕 1,188千円 □ 問小中物品庫屋根修繕 353千円 □ 小中学校GIGAスケール構想端末追加 673千円	☆安心安全で環境にやさしい学校づくりを推進した	継続 ・適正な維 持管理
		〇 教職員住宅の整備	□ 教員住宅修繕 1,991千円 · 幌延地区教員住宅内外修繕 他 · 問寒別地区教員住宅内外修繕 他	☆ 教職員の安心・安全な生活環境を整えた	継続 ・計画的環 境整備
		〇 スクールバスの運行	□ スクールバス運行事業 ・幌延地区3路線 ・問寒別地区 2路線 ・スクールパス「こざくら号」更新 3,798千円	☆ 安心で安全な運行のため運行会議を行った ☆ スクールバスを計画的に更新する必要がある	継続

3 幌延町社会教育施設の利用状況

区 分	特色ある教育活動・経営の重点	□社会教育の推進 学ぶ意欲、学ぶ心を育っ 機会を提供し、ふるさと学					対応した学習	習情報や学び <i>0</i>							
±会教育		幌延町社会教育施設の利用状況 (令和4年度実績)													
	I 幌延を知るための学びの場づくり	施設区分	件数	利用人数		年 度 実 績									
一第7次中期計画(R2 ~7)スローガンー	 ○多様な学習機会の拡充に努める				件数	利用人数	件数	利用人数							
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	○多様な学習機会を提供する	幌延町生涯学習センター	463 件	6,829 人	458 件	5,917 人	5 件	912 人							
共に学び·共に育み·共 に創る 郷土に根ざす		問寒別生涯学習センター	491 件	6,786 人	354 件	5,560 人	137 件	1,226 人							
ひとづくり	Ⅱ 地域の営みに参画できる仕組みづくり	総合体育館	349 日	11, 259 人	354 日	11,457 人	▲ 5 日	▲ 198 人							
	○文化·スポーツ活動を充実する ○家庭·地域の子育てを支援する	県 延 小 学 校	116 件	1,274 人	122 件	1,385 人	▲ 6 件	▲ 111 人							
	〇住民の社会参画活動を促進する	校 幌 延 中 学 校	83 件	1,841 人	76 件	1,901 人	7 件	▲ 60 人							
	│ │ Ⅲ 子どもたちの自立を促す環境づくり	問寒別小中学校	44 件	494 人	27 件	394 人	17 件	100 人							
	│ │ ○体験·交流活動を推進する	金田心象書道美術館	295 日	744 人	277 日	526 人	18 日	218 人							
	〇学校との連携を促進する 〇ボランティア活動を推進する	郷土資料展示室	243 日	158 人	229 日	93 人	14 日	65 人							
	○リーダー・指導者の研修機会を提供する	幌 延 図 書 室	354 日	2,847 人	350 日	2,947 人	4 日	▲ 100 人							
	 Ⅳ 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり	問 寒 別 図 書 室	357 日	226 人	357 日	361 人	0 日	▲ 135 人							
	│ │ ○協働による生涯学習を推進する	幌 延 町 民 プ 一 ル (6月~9月)	98 日	1,526 人	83 日	2,317 人	15 日	▲ 791 人							
	〇青少年活動を推進する 〇コミュニティ活動を活性化する	問寒別町民プール (7月~8月)	53 日	514 人	53 日	506 人	0 日	8 人							
	〇スポーツと健康づくりを推進する	東ヶ丘スキー場 (12月~3月)	43 日	13, 521 人	55 日	20,980 人	▲ 12 日	▲ 7,459 人							
	 ▼学習活動の拠点づくり	東ヶ丘スキー場管理棟	6 日	372 人	0 日	0 人	6 日	372 人							
	○社会教育、社会体育施設を整備する ○社会教育、社会体育施設の利用を促進	(団体利用) パークゴルフ場 (1日券) (シーズン券)	8 件 261 枚 47 枚		9件 256枚 48枚	181 人	▲ 1 件 5 枚 ▲ 1 枚	▲ 11 人							
	する	野球場	48 件	761 人	75 件	1,252 人		▲ 491 人							
		ゲートボール場	95 件	647 人	78 件	623 人	17 件	24 人							
		球 技 場	13 件	113 人	26 件	347 人	▲ 13 件	▲ 234 人							

4 社会教育 共に学び、共に育み、共に創る 郷土に根ざすひとづくり

担当	執行方針要点	社会教育グループ	事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・ 改善・縮小・廃
社会教育 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	◆ 幌延を知るための学 びの場づくり		□ 町ホームページへの情報更新 □ 社会教育だよりの発行 年12回発行 □ 体育館だよりの発行 年12回発行 □ 告知端末機を活用した事業開催案内	☆ ホームページは遅滞なく適宜更新することができた☆ 各事業の活動の様子や結果報告、開催案内、募集案内などを解りやすく町民に周知するよう努めた☆ 効果的な活用が図れるように努めた	此) 継続 *告知端末 機の効果的 活用
		〇 学習相談体制づくり	□ 生涯学習アドバイザーの委嘱(H18.4.1~) ● 学習支援·相談·情報提供に関する環境づくり	☆ 幌延町の特性を生かし、主催事業の講師や町民の生涯学習活動を支援した☆ サロベツ原野でたくましく生きる動植物の生態・繁殖・四季の移り変わりを大型モニターやパネル等で公開した	継続*地域人材と学習アドバイザー
		○ 学習機会の提供	□ ふるさと自然体験チャレンジ事業の実施年6回開催地引網&釣り体験・ナイトハイク・酪農体験・染物体験・スノートレッキング・雪と遊ぼう □ 朝活事業の実施(夏休み期間 7/26~8/1)朝活事業の実施(冬休み期間 1/11~13)□生きた語学を学ぶ機会の提供ALT(トレーシー氏)及び宮古支援員の活用英語学習会6回、英会話教室1回	 ☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら実施 ☆ 自分の住む地域を再発見し、大切にする心を育てることができた ☆ 郷土を愛し、誇りに思う心を育むことができた ☆ 長期休業中における望ましい生活習慣の定着を図ることができた 児童向けの英語学習会や一般向けの英会話教室を開催し、ネイティブスピーカーを通して英語に慣れ親しむ機会を提供することができた 	継続*ふるさと・地域・人を愛す心の育成
			□ ワラベンチャー問寒クラブ事業	一般向け英会話教室の開催方法を再検討する ☆ ふるさとの自然や歴史·文化に親しむことができた	
	町内書初め展の実施(展示会&表彰式) 文化の <展示会>1/21~31(出展数:167点) ☆ 心象館		★ 書道への関心や理解を深めるとともに、地域の芸術文化の向上を図るため「書初め会」を実施した★ 心象館の適切な施設運営とともに、書カフェやギャラ―リー展を開催し、入館者の増員に努めた	継続 *町の財産 と書道文化 の推進	
			□ 生きがい教室の開催年6回開催学習会・芸術鑑賞会・町外研修・映画上映会・新春演芸会&ゲーム・ヨガ教室	☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら、学習や 語らいの場を提供するとともに、生きがいを持ち、 楽しみながら生活してもらえるように努めた	継続
		〇 利用しやすい施設運営の推 進	□ 教育·文化·スポーツ施設の適正な管理運営 の推進	☆ コロナ禍の中、社会教育施設の適正な管理運営に努めた(利用状況参照)	継続

担当	当 課	社会教育グループ	事業内容	点検・評価と課題	方 向 性
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名			改善·縮小·廃 止)
社会教育 共に学び・共に育み・共に創るづくり	◇ 地域の営みに参画できる仕組みづくり	○ 芸術・文化鑑賞会の提供	 □ 舞台芸術鑑賞事業 「大井健コンサート~Beautiful Piano」公演 □ 親子ふれあい人形劇	 ☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら実施 日頃、芸術鑑賞機会が少ない地域性の中、舞台芸術 に接し、感動や生きる力、地域の文化振興を図ることができた ※コロナ禍のため、親子ふれあい人形劇は中止 	継続 *芸術文化 鑑賞機会の 推進
		〇 地域教育力の向上	□ 子育て支援、ボランティア人材登録と活用 (幌延·問寒別) □ 家庭教育妹°-ト企業の登録	 ☆ 幌延、問寒別の地域子ども教室では、地域のボランティアスタッフによる身近な遊び交流等を通して、放課後の安全・安心事業を進めた ☆ 家庭教育サポート企業(現在町内6社が道教委と締 	継続 *人材の活 用と確保 *地域の子
			(有伊藤商店、㈱道北物流、 有問寒別軽送、 天塩ハイヤー㈱、幌延郵便局、問寒別郵便局□ 家庭教育の推進 家庭教育学級の開設 幌小3回/幌中3回/問小中3回	結)の啓蒙と企業の理解を深めていく	育て支援 *家庭教育 の推進
		〇 住民の社会参画活動を促進	□ 住民参画活動 町民スキー大会、町民フットサル大会	☆ 体協加入団体以外のサークルが、社会体育事業に参 画し競技・運営に協力した	継続
	◇ 子どもたちの自立を 促す環境づくり	〇 子どもの健全育成の推進	□ 放課後子ども教室推進事業 地域の大人の協力で、子どもたちとともに 勉強やスポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを推進する。 幌延小 29人、指導員 1人 開催35日 (ボランティア 6名) 問寒別小 13人、指導員 5人 開催44日 (ボランティア 3名)	 ☆ 小学生を対象に異年齢の児童42名の登録、15名のスタッフで、放課後の安心安全事業を進めた ☆ 地域のボランティアと児童の交流が図られ、安心・安全な地域づくりに役立った ☆ 子どもたちにケガや事故のないよう自主活動を見守る安全指導員の確保に努めた 	継続 *地域の子 育て支援
			□ ワラベンチャー問寒クラブ事業 歴史探検隊·スノーモビルランド ● 体験·交流活動の推進 ● ボランティア活動の推進 ● 会員53名	☆ 問寒別地域を中心にした自然体験活動を支援した 親子や地域交流・異年齢交流等を通して、子どもたちの心に「ふるさと」をしっかり根付かせる取り組みに対し、支援を行った ※コロナ禍のため、親子釣り大会は中止	

担	뇔	 ≦	謂	Ę		社	会	教	育	グ	ル	_	プ															方向	
区	分	執行	方方	針	要点	i	個	另	jij :	事	業	. 名	3	. 事	業	内	容	7	点	検	•	Ī	評	価	٢	課	題	(拡大・継 改善・縮小 止)	
1223/13	◇ 次f 続f		リナて抄 L土づく		C) =	₹ ユ	ニテ	√	一活重	動の推	推進	□ 町民交流施設 (利用状況参照 付列所表別 中標延深地層研究 有効活用 □ 心象館ギャラ ● ギャラリー ● 書カフェ和	照) 究セン リー展 -展	ター・国 &書カフ 6回	7ェ	施設の	☆ コロナ参画と層の折☆ 心象質	利 ・協 ・協 ・協 ・関 ・ を ・ の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	し 対 策 支 図 間 を 図 で を で の で る で う で う で う で う で う う で う で う う で う で	すの援て有効	重営は高います。	本制づ報提供し、個	くりを ・読書 人及ひ	進めて	てきた のより ナークノ	* 利用し すい環境 — くり	しや	
		○ スポーツ活動の振興 □ 各種スポーツ団体との連携と育成 ● 子ども運動教室 8 回実施 ポーツ団体との連携と育成 ポーツ団体との連持 会等を企画し、コリー 会等を企画し、コリー 大会等もあったが、 実施することができ			連携で コロフ が、 3	を図り ナ禍の 正期も	リ、ス D中、	ポーッ 中止も	教室や	各種が	,	売																	
	問学セ屋外排水管修繕 515千円 総体屋上外壁修繕 1,584千円 総体アリーナ非常口扉交換修繕 1,210千円 町民プール幼児用水槽塗装 3,443千円 野球場バックネット修繕 3,828千円 野球場バックネット塗装 682千円 野球場外構補修工事 36,641千円 総体自家発等改修工事実施 ☆ 老村	☆ 経年学 ☆ 老朽(1 業務要	とした						二係る写	 実施 設言	継続 *安心安 な施設機 の維持	安全																	
					C			育、を促			育施設	元	□ 国際交流施設 鑑賞機会の充 ・ 子で住民の地域 び住民のが拠点 ・ 図書別 ・ 図書図 ・ ● 移動図書の書 ・ ● 移動図書	実(幌 住民の ティア等 l ブー) 6回	型 ・自主的な との連携 」(問題 の利用促	は活動の を大切(寒別))支援及 こする !延・問 .2回	性及で ☆ 各学校 所向に	地 域 き へ の け の の の の の の の の の の の の の の の の の	文化(意欲) 団動図 読み	のの 貸書聞い	興を図 とし、び ○ ひひ	図ると 努めた 定~5	ともに ど歳の	こ、施言 園・へる L幼児 d	役の利値		להוע	

第3 点検評価に関する外部評価

1 外部評価者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価に対し、次のとおり意見や助言をいただきました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等について、 今後の施策、事業等に反映させてまいります。

2 点検及び評価に関する意見

□高 木 健太郎 氏(北海道大学天塩研究林長)

(1)教育委員会の活動状況について

令和4年度は、4名の委員の方々が11回の教育委員会議、13件の学校行事・学校訪問、 関連会議・研修会等に参加されています。加えて22件の関連委員会が開催されており、 今年度もコロナ禍の制限下で、5か月間教育長が不在の中、多くの関連会議や委員会活動 に積極的に取り組まれています。次年度はコロナ禍による制限が緩和され、学校行事への 参画等の活動が本格的に再開できることを願います。

教育委員会議では、毎年の執行方針、計画、予算要求、報告、委員任命・委嘱の審議と報告が今年も適切に行われています。加えて、全道や全国のスポーツ大会への参加のための助成に関連して、「幌延町文化・スポーツ大会等参加補助金要綱」の一部改正を行うことにより、町のスポーツ振興に貢献しています。総務学校グループ、社会教育グループ双方の適切な補助事業を通じて、地域社会が一体となった教育支援やスポーツ育成事業に貢献していると思います。児童生徒学力向上支援事業補助についても地域の状況やニーズに応じて柔軟に適用されていると思います。今後とも手厚い補助を希望します。幌延ラーニング・サポート・クラブへの学習支援活動事業運営の補助の継続についても支持します。学習支援を外部委託することによりボランティアの負担を軽減し、活動の恩恵がより広く行き渡るように継続してご尽力いただければと思います。

木澤前教育長におかれましては、7年以上にわたり重責をお勤めいただいてありがとう ございました。新しく就任された青木教育長におかれましては、何卒よろしくお願いいた します。

(2) 主要施策・事業等について

学校教育の充実に関する9項目、社会教育に関する5項目の主要な執行方針について、

当初の予定通りの成果をあげていると思います。問寒別小中学校では、児童・生徒の自己の認識と多様性の尊重を意識した「自分の良さや可能性の認識と他者を尊重し、多様な人と協働できる児童生徒の育成」を年度の重点に更新しています。

「確かな学力の向上」では、幌延小学校においては指導方法工夫改善加配と授業改善推進チーム加配、幌延中学校においては免許外教科担任解消加配と地域おこし協力隊によって、少人数指導や個別指導の充実が維持されています。今後も加配の維持・増員が必要な事業であると考えます。コロナ禍の中、導入が加速したICTの活用や「宗谷管内子どもの学力向上「Sサポート」の活用を通じて、今後も引き続き個に応じた指導方法の改善に取り組んでいただきたいと思います。幌延小中学校間の交流に加え、児童・生徒数の少ない問寒別小中学校との教員の授業交流や乗り入れ授業、ICT活用や対面による合同学習も継続して行っていただきたいと思います。

「豊かな心の育成」では、今年度もコロナ禍の中、感染予防対策を講じながら、少年少女文化祭が滞りなく開催されています。クリーン作戦や人権の花運動への参加やこども園との交流、子ども議会の開催等を通して、社会性や規範意識、思いやりの心の育成に役立っていると思います。

「健やかな体の育成」では、少年少女陸上記録会において、4種目で5つの新記録がでており、日頃のスポーツ指導の充実がうかがえます。少年団活動に対しても、手厚い支援が継続されています。

「特色ある教育の推進」では、ALTの協力のもと、イングリッシュルームの有効活用や小学校英語 de トライなどの試みを通して、英語への児童生徒の興味関心を高める効果が期待できます。また漢検と英検の検定料の補助事業を通じて、学習意欲の向上に貢献しています。職場体験学習や地域探究学習を通じて、キャリア教育を推進しています。総合的な学習の時間を利用して、自然や農業に触れ合う体験を提供することは、郷土のすばらしさを実感し、人間性を育成する効果が期待できます。臨時休業時等の家庭(オンライン)学習支援の維持促進は、コロナの影響が少なくなった場合も応用可能な基盤整備と思いますので、継続して進めていただくことを希望します。ALTや外部講師に加え、学習支援員による英語を学ぶ機会の提供は、今年度も継続して充実しており、町自慢のプログラムとなっている印象です。小中学校での授業に加え、こども園や保育所、社会教育関連の活動においても活躍しており、地域社会教育への貢献も大きいと思います。

「地域と支え合う学校づくり」では、町内3校において学校運営協議会が定着し、学校と地域が目標を共有し、学校運営に知恵を出し合う環境が整備されています。地域参観日の設定や学校だよりの定期的な発行もこの方針に貢献しています。

「教職員の資質、指導力の向上」に係わる、働き方改革の推進の実現には、様々な困難 を伴うものと推察されますが、支援員等の配置や校務支援システムの活用を通して、継続 して取り組んでいただきたいと思います。

「特別支援教育体制の充実」に関連して、支援員3名の配置が継続されており、「心の教育相談体制の推進」では、子どもの心サポート相談員は年間420時間配置されています。 児童生徒の指導や心のケアがきめ細やかに行われている、これらの事業と支援員の維持継 続を希望します。

「安全・安心な教育環境の推進と就学支援」では、スクールバスの更新、学校施設の改修、GIGA スクール構想端末の追加に加え、教員住宅の修繕が計画的に行われています。 必要経費の確保を継続していただけるよう希望します。

地域の方々のご協力を受けながら、多様な学習機会の提供や体験・交流活動の企画・運営を通じて、幌延町第7次社会教育中期計画のスローガン達成にご尽力されています。社会教育施設の利用状況も回復傾向が見られます。コロナ禍で対面の企画に制限のある中、生涯学習アドバイザーの富士元さんには、貴重な動物写真の公開を通して、幌延町の自然の豊かさを伝えていただき、郷土資料展示室や心象館の利用促進に貢献していただいており感謝いたします。

今年度も感染対策を行いながら、6件のふるさと自然体験チャレンジ事業やワラベンチャー問寒クラブ事業2件を実施しており、関係者の方々の熱意とご英断を支持します。これらは幌延町の自然を活用した独自の誇れるプログラムです。朝活事業も定着し、児童・生徒の長期休み中の生活習慣の向上に貢献していると思います。地域おこし協力隊のリーダーシップのもと、書道文化の振興と心象館の活用に精力的に取り組まれています。今年は芸術・文化鑑賞会4件の開催に加え、英語学習会と英会話教室を計7回、生きがい教室を6回開催されていて、町民スキー大会やフットサル大会を再開することができました。開催時期を見極めながら社会教育活動の再開に努力されていると思います。

地域のボランティアスタッフによって支えられている放課後子ども教室は、地域のボランティアと児童、父母の交流を通して、安心・安全な地域づくりへの貢献も大きいと思います。今後も支援を継続しスタッフの維持確保に努めていただきたく思います。

老朽化した社会教育施設の改修も計画的に行われています。今後も整備のための経費の 維持が必要です。

(3)総合的な点検・評価について

点検評価報告書は執行方針要点毎に事業の内容と点検・評価、および今後の課題がわかりやすく整理されています。今後とも適切な情報公開を期待いたします。教員の加配や支援員の配置、外部講師委託は継続・充実していただくことを希望いたします。

教育委員会は多岐にわたって魅力的なプログラムを企画・運営されています。コロナ禍における学校の対応に加え、地域交流プログラムの開催にはご苦労が多いことと思いますが、感染状況を踏まえて徐々に with コロナの活動を推進されていることに敬服いたします。

□冨士元 寿 彦 氏(前幌延町教育委員会委員)

(1)教育委員会の活動状況について

令和4年度に行われた11回の教育委員会議は、必要に応じた内容の開催で、その都度 適切な報告と議案の審議がなされています。 また、教育委員会委員の活動状況につきましても、学校行事や学校訪問が 13 件、町議会 3 回・4 日の他、コロナ禍により欠席した行事以外、web を含む各種協議会と会議・視察研修会等への出席・参加が多数あり、積極的に活動していた事が認められます。

教育委員会関連委員の活動状況も皆、必要に応じた委員会議が開催されており、各種事業等の適切な運営・推進が行われています。

教育委員会が交付した補助金につきましても、総務学校グループと社会教育グループ共に、各事業の円滑な実施と運営推進には必要なもので、適切なものだったと思います。特に、幌延町文化スポーツ大会参加補助事業の全道大会と、全国大会出場は、上を目指すための良い奮起剤的な効果があるように思います。

(2) 主要施策・事業等について

「学校教育の充実」の「特色ある教育活動・経営」の重点では、幌延小学校・幌延中学校・問寒別小中学校の各学校が、学校教育目標に向けた活動に取り組み、年度重点課題を推進実践しています。また、執行方針に向けた個別事業の内容も、多岐にわたり取り組まれており、それぞれに実践推進されていました。高く評価したく思います。

「確かな学力向上」の「個に応じた指導方法工夫改善」では、今年度も幌小1名加配で推進された複数教員(T.T)による少人数指導や個別指導が行われており、成果が期待されます。それと、免許外教科担任解消加配による授業も、授業内容と成果が期待されるものと思います。方向性にあるように加配の要望で、今後も継続されることを期待します。また、昨年に続き幌中に配置された地域おこし協力隊・教育支援員の活動で、家庭での学習習慣等が推進定着しているのも大変よい取り組みだと思います。

「学習成果の活用」では、「Sサポート」の活用と、各学校で学力向上プランを作成し、全ての児童生徒の学力向上が推進されているのは、とてもよい取り組みです。

「豊かな心の育成」では、道徳授業で幌中と問中の遠隔授業を含む合同学習も実施されており、道徳教育の充実に向けての努力がうかがえます。

「読書」活動も図書室の利用と環境作り等を推進・実践しており、大変好ましく思います。一段と活字離れが進む現状なので、これからも読書活動の推進を期待します。

「奉仕・体験活動」と総合的な学習の時間の充実では、コロナ禍の中でも感染予防に注意をして、活動が推進されていました。感受性の豊かな心を育むため、今後も可能な限り継続して取り組まれることを期待します。

「健やかな体の育成」では、本年度も加配教員による体育エキスパート教員巡回指導事業の実施で、小学校教員の指導力と児童の体力向上に向けた取組が図られていました。少年少女陸上記録会で、4種目5つの新記録が出たのも、こういう取り組みが功を奏したのか?と思います。

「学校給食の円滑実施」では、継続して食育の推進、施設・設備の整備等による衛生管理の徹底が図られ、安心安全な学校給食を提供する事業が実施されています。栄養教諭配置による食の知識と食育指導が図られ、元気な体づくりと食習慣の大切さや、合鴨ラーメンで、地場産食材を理解させることができたのは良かったと思います。

中体連部活動と少年団活動への支援は、体力の向上と健全な体の育成につながる良い内容の事業です。特に、生徒数の減少により難しくなった部活動のため、補助、支援等の整備と、外部指導者との連携はよい取り組み方だと思います。

「特色ある教育の推進」では、小・中教員による授業交流や乗り入れ授業が継続して行われており、今後が期待される事業だと思います。漢検と英検の検定料補助も、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着に繋がっていると思います。「ICT機器を活用した学習活動」で、基本的な情報活用能力が育成されていることは、これからの情報社会に役立つ実践的な内容の取組です。他にも職場体験・地域探究学習も行われており、よい内容の事業だと思います。

「地域と教育活動」でも、地域の自然環境と社会環境等を知るための体験学習が行われており、地域の学習支援活動団体への補助・支援と共によい内容の取り組みです。「情報教育の推進」では、情報機器を活用して情報社会に生きるための基本的活用能力の育成が図られておりICTを活用した授業は、一人一台のタブレットが配置されており、オンライン学習等の実施に向けた環境整備が図られている事を高く評価したく思います。

「国際理解教育の推進」では、ALTと外部講師、学習支援員の活用で、英語教育の質の向上と国際理解教育の推進が図られています。今後も更に向上が期待できる事業だと思います。

他の事業でも、学校運営協議会の設置、情報公開の推進、教職員研修・学校訪問の実施、子どもの心サポート相談員と幌小に3名の特別支援教育支援員の配置、通学路交通安全プログラム策定等、関係機関や地域との連携により、子どもたちが安心して学校に通える環境の教育体制作りにも、尽力している様子がうかがえます。

社会教育は、コロナ禍の影響を受けて中止になった事業があったものの、芸術・文化、スポーツ等多種多様な内容で、幅広い年齢層を対象にした各種施策・事業が企画推進実践されていました。高く評価したいと思います。

「幌延を知るための学びの場づくり・学習機会の提供」では、町のホームページへの情報更新と、毎月社会教育だよりと体育館だよりが発行されています。告知端末機でもその都度開催事業の案内や情報提供が行われており、よい広報活動が展開されています。

「学習機会の提供」では、「ふるさと自然体験チャレンジ事業」と「ワラベンチャー問寒クラブ事業」が、ふるさとの自然や歴史・文化に親しみながら体験できるよい取り組みです。子どもたちにとり、自然と触れ合える数少ない行事は、とてもよい情操教育の場になっていると同時に「郷土を知る事で、改めて素晴らしさを知り、誇りに思う・故郷の思い出作り」になっていると思います。

尚、チャレンジ教室のナイトハイクでは、北海道大学問寒別研究林々長・高木健太郎氏と研究林スタッフ諸氏に多大なご協力をいただいております。

学習機会の提供は、他にも「生きた語学を学ぶ英語学習会」や「生きがい教室の開催」など多くの場が提供されていますが、みな役に立つよい企画の事業です。

書道文化の向上と推進を目指して実施された「町内書初め展」と「書初め会」もよい企画だったと思います。

「利用しやすい施設運営の推進」では、コロナ禍の中、社会教育施設の適正な管理運営 の推進に努めていたことが、利用状況表からうかがえます。

地域の営みに参画できる仕組みづくりでは、「芸術・文化鑑賞会の提供」「地域教育力の 向上」等が実施されていますが、これも文化振興、子育て支援等の振興に貢献するとても よい内容の事業だと思います。家庭教育学級の開設もされており、家庭教育の推進に役立 っていると思います。小学生を対象とした「放課後子ども教室推進事業」では、指導員と 地域のボランティアスタッフにより、放課後を安全に過ごせています。よい子育て支援に なっていると思います。

「コミュニティー活動の推進」は、教育委員会の評価と課題・方向性にあるように継続して「生涯学習の拠点として、地域文化の振興を図る」ために利用しやすい環境づくりを推進する事が、理想的だと思われます。心象館ギャラリー展&書カフェは、館の空間を利用した良い活用方法だと思います。また、図書室(コーナー)の利用促進のために行われた「図書企画展」と「移動図書室」「各学校への団体貸出し」「乳幼児と保護者向け読み聞かせ」事業の実施は、本に親しむ機会の提供と、蔵書を活用するよい試みだと思います。

(3)総合的な点検・評価について

今年度もコロナ禍により、中止になった行事もありましたが、多くの事業が実践されていました。中でも ICT 機器を活用した学習活動は、効果が大いに期待される取り組みです。 外国語と共に、これからの時代を担う子どもたちには必要不可欠なものだと思います。 益々の進展を期待します。

故郷の自然や歴史、文化に親しむ事業の「ふるさと自然体験チャレンジ教室」と「ワラベンチャー問寒クラブ」の活動は、恵まれた自然が身近にある幌延ならではの取り組みです。今後も継続して取り組んで欲しく思います。

教育委員会による点検・評価報告書は、「事業の執行方針・内容」と、「点検・評価と課題」についての内容が、それぞれ分かりやすく簡潔にまとまっており、方向性もほとんどが継続になっているのを好ましく思います。各種事業が目標に向けて推進される事を期待します。